

第1章 中津川市の概況

1. 市の位置と地勢

中津川市は、岐阜県の東南端に位置し、東は木曾山脈、南は三河高原に囲まれ、中央を東西に木曾川が流れます。東西 28 キロメートル、南北 49 キロメートル、総面積 676.38 平方キロメートルを有し、恵那山をはじめ中央アルプスの美しく雄大な自然を背景とするグリーンシティです。

①市の位置

方位	地名	経度	方位	地名	緯度
極東	阿木丸山	東経 137 度 38 分	極南	阿木三森山	北緯 35 度 21 分
極西	加子母舞台峠	東経 137 度 19 分	極北	加子母三国山	北緯 35 度 48 分

中津川市統計書(平成 18 年度)

②市の標高

区分	場所	海拔
最高地点	恵那山山頂	2,191m
最低地点	和田川と木曾川の合流点	230m

中津川市統計書(平成 18 年度)

③市の広ぼう

東西	南北	面積
28km	49km	676.38km ²

中津川市統計書(平成 18 年度)

2. 市の沿革

当市は、古くは中山道の宿場町として栄え、明治中期から昭和初期にかけて市内に主要工場が立地するなど工業の歴史も古く、文化のかおり高い商工業の盛んな都市です。

中津川市のうつりかわり

年月日	事項	面積 (km ²)	人口 (人)
平成 17 年 2 月 13 日	恵那郡坂下町、川上村、加子母村、付知町、福岡町、蛭川村、長野県木曾郡山口村合併	676.38	86,682
平成 2 年 4 月 1 日	国土地理院公表により面積訂正	275.98	54,125
昭和 43 年 4 月 1 日	境界変更(恵那郡福岡町に一部編入)	275.93	47,571
昭和 33 年 10 月 15 日	長野県西筑摩郡神坂村の一部合併	276.53	46,781
昭和 32 年 11 月 1 日	恵那郡阿木村合併	236.90	45,243
昭和 31 年 9 月 30 日	恵那郡落合村合併	158.73	40,818
昭和 29 年 7 月 10 日	恵那郡坂本村合併	134.58	35,887
昭和 27 年 4 月 1 日	市制施行	101.48	30,987
昭和 26 年 4 月 1 日	恵那郡苗木町合併	101.48	28,590

中津川市統計書(平成 18 年度)

3. 市内の気象

太平洋型気候※に属し、内陸性の山地気候※を示し、昼夜の温度差が大きく、山間部において冬期の積雪により道路事情が悪くなることもあります。閉鎖されることはほとんどなく、年間を通して晴天が多く、降雨の少ない気候となっています。

区分	気温（℃）					降水量（mm）		
	平均気温	最高気温	起日	最低気温	起日	最大雨量	起日	年間降水量
平成 18 年	13.9	36.7	8月5日	-8.6	1月9日	74.0	7月19日	1,613
平成 17 年	13.5	35.4	7月22日	-8.2	12月27日	87.0	7月1日	1,296
平成 16 年	14.6	35.5	7月28日	-6.9	1月16日	105.0	8月17日	1,982
平成 15 年	13.7	34.8	8月5日	-8.8	1月6日	77.5	8月9日	2,134
平成 14 年	14.0	36.1	8月6日	-6.8	12月28日	84.5	10月1日	1,462
平成 13 年	14.4	39.5	8月2日	-8.5	2月18日	70.0	7月28日	1,568
平成 12 年	14.4	37.0	7月20日	-8.5	1月22日	278.0	9月12日	2,083

中津川市統計書（平成 18 年度）

注：「太平洋型気候」・冬は乾燥した晴天の日が続き、夏は比較的降雨量が多い気候のことをいいます。

「内陸性の山地気候」・一年間の気温差、一日の気温差の大きい、山に囲まれた盆地特有の気候のことをいいます。

4. 人口や世帯数の推移

当市の人口は、平成 17 年 10 月現在 84,076 人であり、合併前の平成 16 年 10 月現在（以下「合併前」という。）の 85,003 人と比べ、927 人、約 1.1%の減少となっています。

世帯数は 27,521 世帯で、合併前の 27,863 世帯と比べ、342 世帯、約 1.2%の減少となっています。1 世帯あたりの家族構成は平均 3.05 人で、合併前の構成人数と増減はありません。

一方で、旧中津川市では、1 世帯あたりの家族構成は平均 2.91 人となっており、県内 21 市の平均値 2.91 と同水準ですが、旧町村域の平均では 3.36 人、新市平均で 3.05 人となっています。これは旧町村域では、いわゆる「核家族化」が旧市より進んでいないことを示しています。なお、新恵那市でも同 3.07 人であり、中津川・恵那圏域は、ほぼ同水準となっています。

（平成 17 年 10 月 1 日現在 単位：世帯・人）

	世帯数	人口	1 世帯当り人員
旧中津川市	18,845	54,898	2.91
旧山口村	638	1,972	3.09
旧坂下町	1,720	5,403	3.14
旧川上村	296	979	3.31
旧加子母村	990	3,384	3.42
旧付知町	1,933	6,582	3.41
旧福岡町	2,074	7,162	3.45
旧蛭川村	1,025	3,969	3.61
旧町村計（再掲）	8,676	29,178	3.36
新中津川市（再掲）	27,521	84,076	3.05
新恵那市	18,141	55,763	3.07
中津川・恵那圏域	45,662	139,839	3.06
県内 21 市計	585,667	1,701,518	2.91
岐阜県計	713,276	2,107,293	2.95

中津川市統計書（平成 18 年度）：平成 17 年国勢調査

5. その他の概況

中津川市の主要山岳、主要河川

山 岳	標高(m)	現 住 所	水系	河川名	河川延長(m)
恵 那 山	2,191	中津川市、長野県阿智村	木曾川	付 知 川	27,546
小 秀 山	1,982	中津川市加子母、長野県大滝村	〃	阿 木 川	16,920
奥三界山	1,811	中津川市川上・付知町、長野県大桑村	〃	中 津 川	13,693
富士見台	1,739	中津川市、長野県阿智村	〃	川 上 川	9,927
焼 山	1,709	中津川市、恵那市上矢作町	〃	飯 沼 川	9,438
三 界 山	1,600	中津川市加子母、下呂市、長野県大滝村	〃	和 田 川	9,000
南 沢 山	1,564	中津川市、長野県南木曾町、阿智村	〃	千 旦 林 川	6,020
三 国 山	1,611	中津川市加子母、下呂市、長野県大滝村	〃	湯 舟 沢 川	5,668
高 時 山	1,563	中津川市加子母	〃	狩 宿 川	5,300
雨乞棚山	1,391	中津川市付知町	〃	外 洞 川	5,000
二ツ森山	1,223	中津川市福岡	〃	柏 原 川	5,000
笠 置 山	1,128	中津川市蛭川、恵那市	〃	四 ッ 目 川	2,618

中津川市統計書(平成 18 年度)

・・・土地利用の変化・・・

当市は、約 80%が森林で、次いで農用地が約 7%、宅地約 3%の順になっており、農用地や森林の面積はわずかながらも年々減少しています。

・・・道路利用の状況・・・

市内の道路網は、当市の東西軸を構成する国道 19 号、南北軸を構成する国道 256、257 号及び国道 363 号を中心に、県道並びに広域農道が整備されています。

鉄道は、JR 中央本線が市域を東西に通っており、市内には坂下駅、落合川駅、中津川駅、美乃坂本駅の 4 つの駅があり、利用者は、最近、減少傾向になっています。

また、恵那と明智を結ぶ鉄道として、第 3 セクターによる明知鉄道が運行され、市内には阿木駅、飯沼駅があり、地域の交通手段として利用されています。

バス交通については、市内を 4 つのバス会社が運行していますが、自家用車の普及が進み、運行回数の減少及び廃線が見られます。

・・・公園・緑地の整備状況・・・

市内には、都市基幹公園（運動公園）として整備が進められている中津川公園(32.5ha)をはじめ、8カ所の住区基幹公園と1カ所の特殊公園が整備されています。

都市公園以外の公園としては、豊かな自然環境を擁する恵那峡県立自然公園や胞山県立自然公園を始め、「夜明けの森」、「河川公園」8カ所、「苗木さくら公園」、「加子母福崎公園」、「田瀬農村公園」などがあります。

・・・産業構造の変化・・・

当市の産業構造を、就業別人口（平成 17 年 10 月現在）で見ると、農業や林業などの第 1 次産業が 6.4%、製造業や建設業などの第 2 次産業が 41.0%、サービス業や卸・小売業、飲食店などの第 3 次産業が 52.5%となっており、人口の増加や社会の変化に伴い第 1 次産業が減少し、第 3 次産業は増加しています。

